

春に近づき、少しずつ暖かい日が増え、ハクビシンのシンちゃんも、かなり活動的になってきました。

もともと、ハクビシンは恒温動物。自分で体温を一定に維持できません。なので、冬眠などをすることはありませんが、寒さが得意なわけではないので、野生でも暖かい場所を求めて行動する動物です。

シンちゃんも、冬の期間は、ほとんど外に出てくることもなく、ずっと麻袋の中で暖を取る生活になっていました。3月に入ると、気温が上がって、餌の時間より先に外に出て走り回りながら餌待ちをする時間が多くなりました。

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園

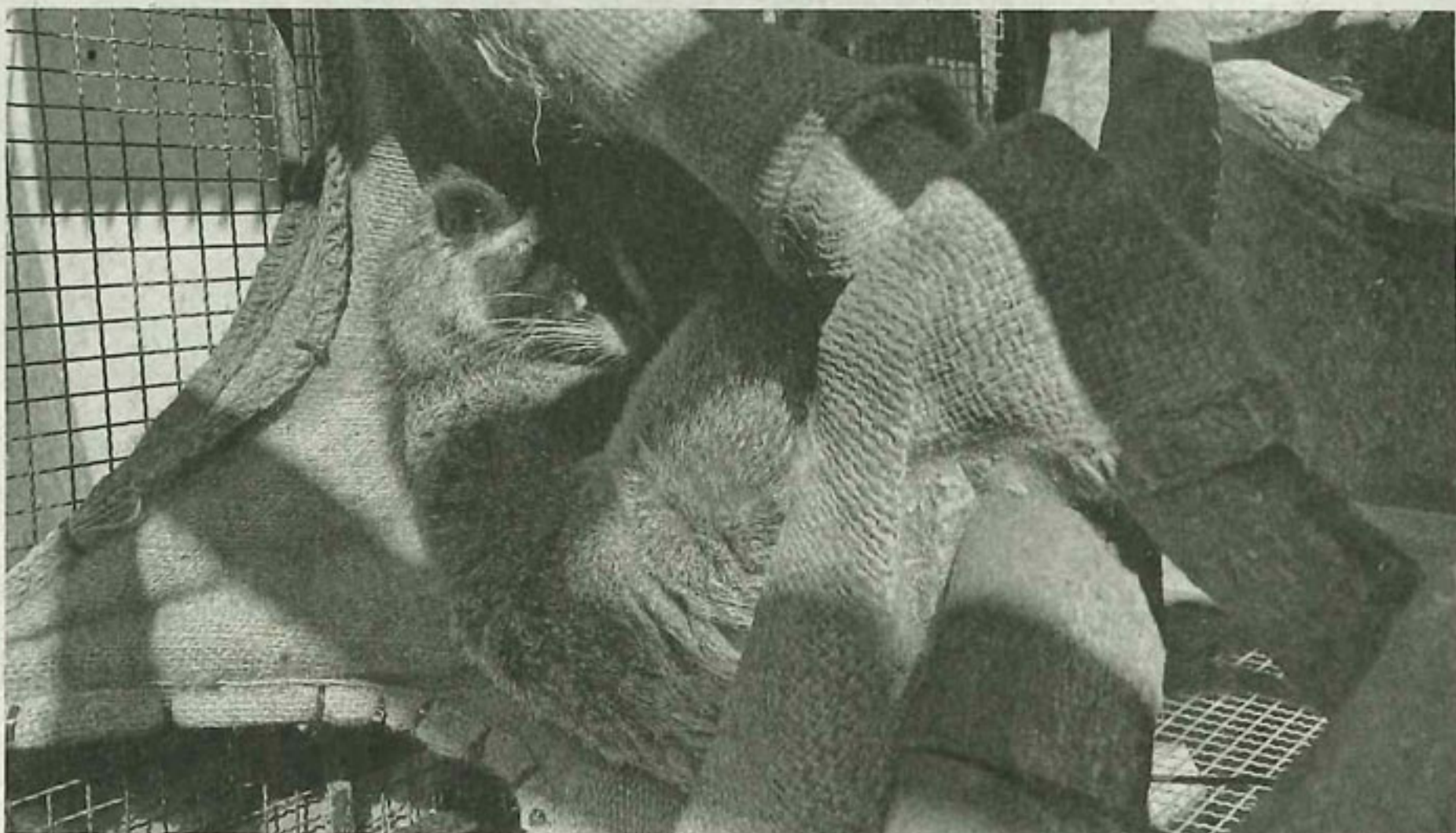


暖かい日は麻袋の上で寝ていることもあります。写真なので、来園した際はぜひ見てみてください。ださいます。

季節の変化

シンちゃんが迎える春

を自分の身で感じるほかに、動物たちの行動や姿などでも感じていけるのは飼育員としての一つの喜びです。



動物たちが気温や季節の変化に追いつけなくなると体調を崩したりすることがないように、飼育員として頑張りたいです。

(ハクビシン担当 徳竹優華)